

(第2号様式)

コザ 第 2676 号  
令和 8年 3月 18日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立コザ高等学校  
校長 大嶺 哲司  
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和7年7月14日 16時～	場所	コザ高等学校校長室	出席 状況	4名
第2回	日時	令和7年12月19日 16時～	場所	コザ高等学校校長室	出席 状況	4名
第3回	日時	令和8年3月17日 16時～	場所	コザ高等学校校長室	出席 状況	4名

2 学校評議員に求めた事項

- ①本校に対する要望
- ②本校に対する提言
- ③本校に対する評価

3 学校評議員の意見

- ①高校総体15連覇は素晴らしいが、勝利至上主義が生徒に圧力をかけることのないようにしてほしい。
- ②相談窓口を活用して教育相談を充実させると共に、人権教育に努めてほしい。
- ③希望する進路を実現するために、生徒のニーズに応じた進路対策や生徒の実態に応じた進路指導、家庭学習の定着を図り、粘り強く最後まで挑戦する生徒を育ててほしい。
- ④戦後80年の節目に伴い、「平和教育の」充実を努めてほしい。
- ⑤スマホに関する問題(睡眠や学習時間の妨げ、SNSに係る問題等)の防止策を保護者の協力も得ながら進めてほしい。
- ⑥定時制課程の生徒も問題行動が減少し、出席状況も良くなっており、落ち着いて学校生活を送れるようになっている。大学進学や検定合格者、生活体験発表での最優秀賞受賞(全国大会出場)等の活躍があり、今後も個に応じた指導を継続してほしい。

4 学校運営に反映した事項

- ① 早期進路決定に向けた取組として、1・2学年の進路講演会や進路ガイダンスへの参加、保護者対象の進路学習会を開催した。
- ② 学習時間を確保し、文武両道を図るため、学習支援ツール「Classi」を活用した「ClassiTime30」を実施し、生徒の自主学習のための活用に取り組んだ。
- ③ 安心・安全で快適な学校生活の実現をめざし、外部講師を招聘した職員研修や「命の尊さを考える日」に向けた生徒実行委員による取組等により、全生徒・全職員の人権意識の高揚を図ることができた。

5 課題その他

- ① 学校評価の結果から、職員・生徒・保護者の三者による要望として、部活動のあり方について検討することが求められている。
- ② 生徒が希望する進路実現に向けて、個別対応の進路指導の充実が求められている。
- ③ 人権や生命にかかる取組が充実しており、学校が落ち着いてきている。引き続き、生徒と職員とのよりよい関係を構築し、楽しく充実した高校生活を送れるように努めてほしい。